

平成23年度

第2回 ふるさと福井景観広告賞

受賞作品

～ ふるさと福井景観広告賞とは ～

福井県では、屋外広告物を周辺景観と調和させ、良好な景観の創出に寄与するようなものとするにはどのようなことに配慮すればよいか、考え方や事例をまとめた「福井県屋外広告物ガイドライン」を平成22年3月に策定しました。

ガイドラインの策定を契機として、広告主や屋外広告業者の皆様はもとより、県民の皆様にこれまで以上に屋外広告物と景観について関心を持っていただくことを目的として、昨年度から良好な景観の創出に貢献している屋外広告物を募集し、優れた作品を表彰する「ふるさと福井景観広告賞」を実施しています。

受賞作品

- 堀口酒造有限会社（南越前町）
- 吹安（小浜市）
- 相津屋（小浜市）
- 株式会社北陸銀行勝山支店（勝山市）
- 筆筒カフェN's（越前市）
- 水間珈琲（越前市）
- 蔵の辻広告物群（越前市）

— 選定基準 —

- 1 情報の序列化やシンボルマークの活用など広告物として見やすい・読みやすいものか
- 2 文字、図柄、素材、色彩などデザインに優れているものか
- 3 建物や街並みその他周辺の景観と調和がとれているか
- 4 福井らしさが感じられるなど、創意工夫に富み、個性的であるか

— 選考委員 —

福井県屋外広告物審議会

会長

野嶋 慎二（福井大学大学院 教授）

委員

内村 雄二（福井工業大学 教授）

木下 信一（福井県屋外広告美術協同組合）

佐飛 容子（福井県屋外広告美術協同組合）

塩出 周子（社団法人福井県文化協議会）

津田由起枝（福井大学教職大学院 教授）

西畑 敏秀（仁愛女子短期大学 教授）

水上 聡子（アルマス・バイオコスモス研究所代表）

宮崎 和彦（福井県商工会議所連合会 理事）

三屋 俊一（福井県警察本部生活安全部）

— 総 評 —

今回は第2回目の募集となりましたが、応募作品の質が全体的に向上しており、周辺景観に配慮している作品が数多く見られ、広告主や屋外広告業者の方はもとより県民の皆様の屋外広告物と景観に対する関心が高まっていることがうかがえました。

また、昨年度の受賞作品は嶺北地域に限られていましたが、今回は嶺南地方の作品も受賞しており、ふるさと福井景観広告賞が全県的な広がりを見せています。

選考は現地調査を含む厳正なものでしたが、優れた作品が多く難航しました。そこで、受賞作品を決定する要素として、今回は「歴史的な街並みにおいて昔ながらの広告物を継承している点で評価できるもの」と「周囲の景観に配慮されている広告物で、広告物を設置する際の良い例として評価できるもの」という点を特に重視しました。

受賞作品は広告物を設置する場合、いかに周辺景観と調和したものを設置することが大切かというメッセージを発信しており、広告物の設置と景観への配慮を考える上で良い例となるものです。福井の良好な景観づくりに積極的に活用されることを期待します。

第2回ふるさと福井景観広告賞

堀口酒造 有限会社



講 評

南越前町今庄宿にある老舗の酒屋。

北陸道の玄関口として往時のにぎわいを偲ばせる宿場町今庄の堀口酒造の看板は、左からの金文字が風雪に耐え威風堂々たる重みがある。

街並みに調和した格子戸と店内の帳場、土壁や瓦屋根とともに、次世代で17代目という守り続けられた信念が感じられる。

所在地 : 南越前町今庄76-1

広告主 : 堀口酒造 有限会社

第2回ふるさと福井景観広告賞

吹 安



講 評

小浜西組重要伝統的建造物群保存地区内にある店舗。

「紙」と大きく書かれた看板は存在感とインパクトがある。字体も美しく看板というよりもキャンバスに描かれた絵画のようだ。それでいて、静かで風情のある小浜の歴史的な街並みと調和し、通りを歩く人に楽しさを与えてくれる。

所在地：小浜市小浜鹿島24

広告主：吹安

第2回ふるさと福井景観広告賞

相津屋



講 評

小浜市立図書館近くにあるこんぶ乾物店。

手作りの看板は趣があり、こだわりの商品を扱っているという誇りを感じる。

景観への配慮から、最低限の広告物で店舗を表示するとともに、昔ながらの町屋の雰囲気を見事に創出している。

所在地 : 小浜市小浜白鬚52

広告主 : 相津屋

第2回ふるさと福井景観広告賞

株式会社 北陸銀行勝山支店



講 評

勝山市の本町通りにある銀行。

力強い文字で書かれた木刻の看板や暖簾などが特徴的で、木を多用した建築と相まって、趣のある店構えをつくっている。

新しい広告物であるが、近隣の商店との調和を図り、旧城下の歴史的な街並みづくりの一翼を担っている点が高く評価される。

所在地 : 勝山市本町2-5-11

広告主 : 株式会社 北陸銀行勝山支店

デザイン : ヨシダ宣伝 株式会社

施工 : ヨシダ宣伝 株式会社

第2回ふるさと福井景観広告賞

箆筒カフェN's



講 評

越前市のタンス町通りにある喫茶店。

控えめでさりげないが、粋で個性的なデザインをもつ看板である。街並みに和みやシンボル性を感じさせ存在を確かにしており、広告物としての機能を十分有している。

建物と調和した格子との組合せは、商店街の景観に程よいアクセントを与えている。

所在地 : 越前市本町3-38

広告主 : 箆筒カフェN's

デザイン : 大谷直子

施工 : 箆筒カフェN's

第2回ふるさと福井景観広告賞

水間珈琲



講 評

越前市の住宅地にあるコーヒー専門店（喫茶店）。

武生という地域らしい独自性を建物、外構、そしてサインが一体となって構成している。和のモダンさを随所に取り入れながら、サインのロゴや配色も周辺環境になじむデザインとなっており、新規オープンにも関わらず、以前から存在していたかのように感じられる。

所在地：越前市北府3-10-23

広告主：水間珈琲

デザイン：市川辰徳

施工：かなづや株式会社

第2回ふるさと福井景観広告賞

蔵の辻広告物群



講 評

越前市にある蔵の辻の広告物群。

復元した街並みは、それはそれで風情があるものだが、街全体からみると違和感を感じるものがある。蔵の辻がそんな違和感を感じないのは、周辺の街並みにも古いものが大切に残されているからである。

周辺の景観に溶け込みながら、さりげない自己主張と存在感があるというのが景観広告のポイントだとすると、蔵の辻はそのポイントを押さえ、昔ながらの街並みを見事に創出している。

所在地：越前市蓬萊町

広告物群創出：蔵の辻協議会

福井県土木部都市計画課

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号

TEL : 0776-20-0497

FAX : 0776-20-0693

E-mail : tokei@pref.fukui.lg.jp

H P : <http://www.pref.fukui.jp/doc/tokei/>